

1. 活動テーマ:埼玉大学での技術士制度の説明
2. 開催日時:2024 年 5 月 15 日(水)12:15~13:15 昼休み及び第3限はじめ
3. 開催場所:総合研究棟 1 号館 シアター教室  
(埼玉県さいたま市桜区下大久保 255 TEL:048-858-3429)
4. 参加者人数:18名  
工学部学生 11名(JABEE 課程、JABEE 課程以外の両方存在)、理工学研究科院生 2名  
工学部長 教授 奥井義昭氏、理工学研究科長(前工学部長) 教授 重原孝臣氏  
(公社)日本技術士会埼玉県支部 伏見隆夫(講師)、近藤孝(随行者)、速川敦彦(オブザーバー)

5. 説明用配布資料

- ①パンフレット「技術士試験 受験のすすめ」(公益社団法人日本技術士会 令和 6 年 3 月版)
  - ②レジュメ「技術士制度について～制度及び技術士試験の概要～」(パンフレットの補完資料)
- なお、制度説明は、配布資料を活用しつつ PPT にて実施した。

6. 実施記録 以下内容で説明を行った。

6. 1 開始の挨拶

埼玉県支部副支部長 近藤孝(金属)

埼玉県支部は県内の大学での技術士制度説明会を行っていること、当該説明会を契機に技術士(資格取得)を目指しよう要望した。

6. 2 技術士制度の説明

講師:埼玉県支部 CPD 委員会副委員長 伏見隆夫(経営工学、総合技術監理)

説明の前に、技術士資格の成立経緯と技術士の様々な分野での活躍を披露するべく、(公社)日本技術士会制作の「技術士に関する動画」を 2 本(約 5 分間)放映した。その後、PPT と資料にて、技術士法の要点、技術士資格の有用性、資格取得試験の概要を説明した。学生が受験可能な一次試験の概要と、一次試験合格後の二次試験受験に至るまでの科学技術に係る実務経験を積み期間(過程)の内容を述べた。

この時点で、昼休みが終わり、次の講義を受講する学生4名が退席後、質疑応答を行った。

質疑応答では、

- ①公務員でも技術士の資格は取れるか
  - ②二次試験受験のために3つのルートがあるが、技術士補の資格をとる方がよいか
  - ③業務経験は技術的な仕事でないといけないか
- 等の質問がだされ、回答した。

6. 3 写真

制度説明の様子



以上

(記録:近藤孝)